



高齢者疑似体験

にいつ眼科勉強会

2020.6.18



研修の目的

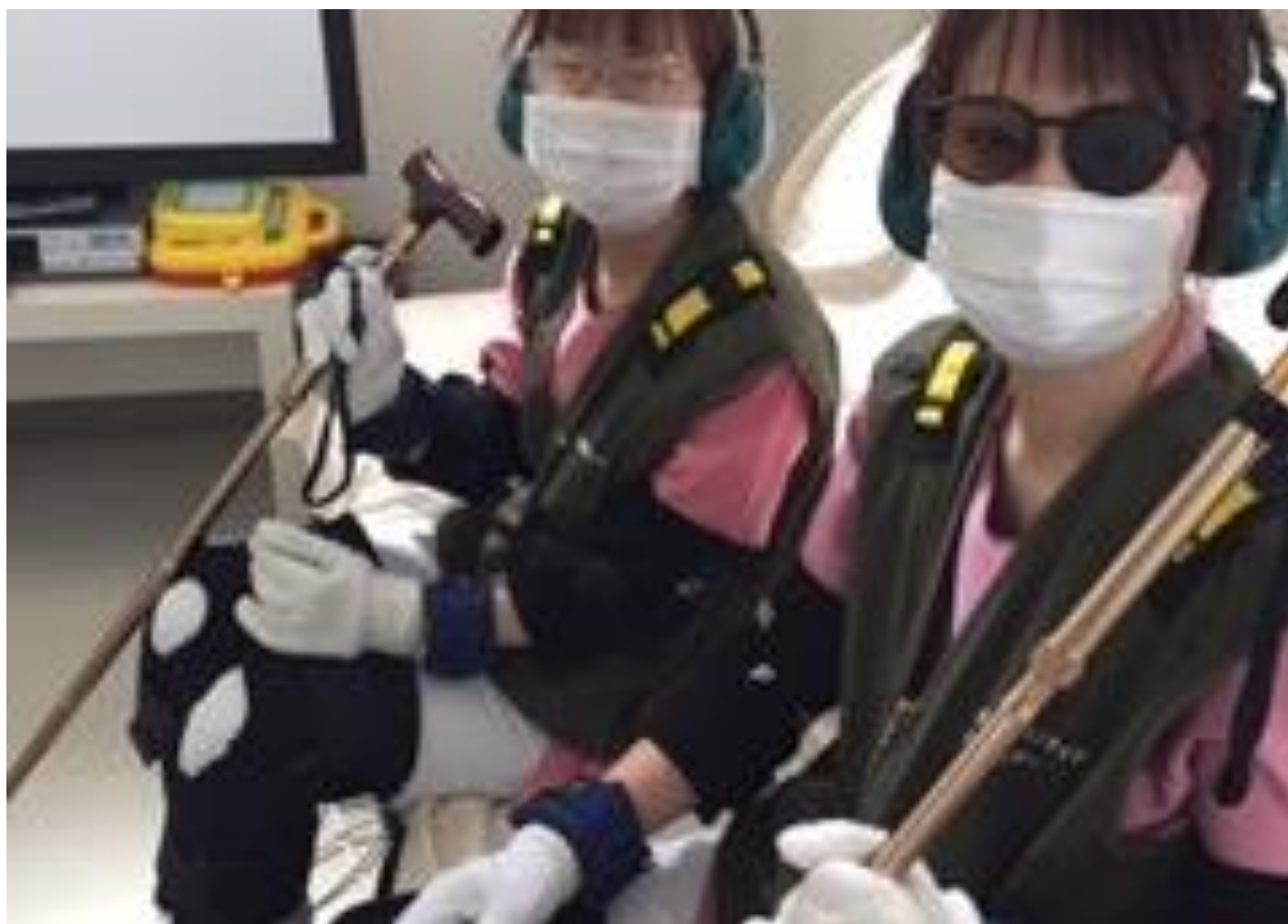
高齢の患者様がどのような想いで、
眼科クリニックを受診されているのか、
職員が感じ、改善点を検証する。



まずは、準備

秋葉区社会福祉協
議会からお借りし
た体験グッズは、
二人がかりで装着

既に「重～い」と
悲鳴が・・・



座学が始まる前から
ぐったり疲れている
状態。

「一度座ったら動き
たくない」

「白内障ってこんな
見えにくいのか？」
と、初めて実感



座学の最中は
白内障メガネや
手袋は外して
しまいました。



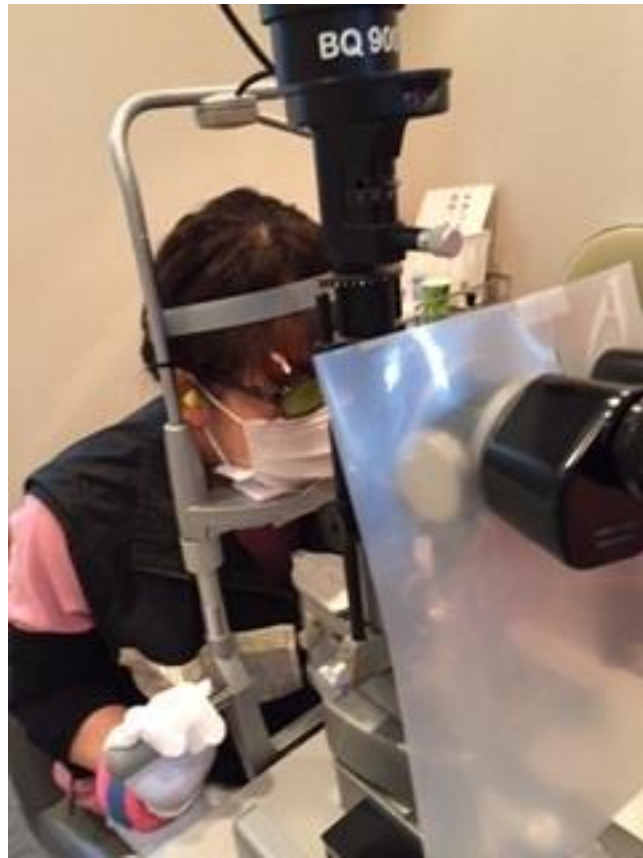


いよいよ、実践

「受付」 → 「検査」 →
「診察」 → 「会計」

一連の流れをペアに
なって体験しました。

「怖い」「怖い」の
悲鳴が響き渡る階段



受付では字が書き辛く、診察では体が動かさづらく、会計ではお金が出し難く・・・



実践を終了しての体験談

- 体が重く、見えにくいので人やモノとの距離感が分からない。不安。立ち上がる時大変。
- とても疲れた。よく高齢の患者様がする体制が分かった。
- 受付に感染防止のカバーがあるのでさらに聞きとりにくい。下の開口部からしか声が聞こえない。
- 視界・耳と不自由だと周りの状況がつかめない。不安。
- 移動が辛い。財布からお金が出せない。



改善策

- できるだけ目を見て、相手の方に伝わるように話す。
- これから何をするのか、はっきりとお伝えをしてから検査や処置をする。
- OCTの検査室の椅子は背もたれ付にした方がいい。
- できるだけ移動は少なく、短くできるように誘導する。

などなど、大変勉強になりました。